

ふくおが



酪農業協同組合 令和6年度(第18回)通常総会



『令和6年度(第18回)通常総会』

組合トピックス	1~15	職員日記	19~20
MOMOステーション	16~17	色々問答	21~22
診療所日記	18		

ふくおか県酪農業協同組合

令和六年度(第十八回)通常総会を開催

去る六月二十五日(水)「筑紫野市文化会館」において、ふくおか県酪農業協同組合の令和六年度(第十八回)通常総会を開催しました。

冒頭、中島清組合長の挨拶、古賀衆議院議員、栗原衆議院議員等の来賓挨拶に続き、尾形興二氏(久留米支所)を議長に選任し、第二号議案から第四号議案が上程され、いずれも原案通り承認されました。

さて令和六年度は、本格的なポストコロナの時代を迎え訪日外国人人数が過去最高を記録し、インバウンド需要は、低迷気味の地域経済の活性化が期待されています。

世界に目を向けますと、ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエルによるガザ地区への攻撃等、紛争の終息は見えず、また、一月に就任した米国トランプ大統領による自由貿易否定とも取れる極端な関税化政策等、世界経

済は見通しづらい状況となつています。

わが国の酪農について、世界的なインフレ傾向と為替相場の円安基調と相まって、生産資材価格は高値で安定、また、副産物収入の子牛価格等も低迷状態を脱しきれず、令和四年度、五年度と乳価の値上げがあったものの、生産コスト上昇分に見合ったものとはならず酪農経営は厳しい状況が続いています。

一方、国内乳製品の在庫問題について、生産者、乳業者及び国の抛出による乳製品在庫調整特別対策事業の効果もあり適正水準で落ち着いていますが、全国的な生乳生産の回復傾向と低迷する消費の影響を受け、必要期には一時的な処理不可能乳の発生が危惧されるなど予断を許さない状況が続いています。

また、国は国内乳製品の在庫処理

が系統(指定団体)出荷者のみ負担するとの不公平感に対して、令和七年度から主要な補助事業の交付を受ける際「全国的な生乳需給安定のための取組へ拠出をしている」等を要件とする「クロスコンプライアンス」を段階的に導入しており、全国的な需給調整の取組への後押しを行つています。さらに、指定団体が系統外出荷者に対し契約違反への対応を強化するための省令改正等を実施するとともに、系統及び系統外との需給調整に関する情報交換会を積み重ねられております。しかしながら、同法に対する生産者間の不公平感は完全に解消されたとは言えず、日本酪農政治連盟では生産者間の不公平感や飲用牛乳価格の乱れなどを指摘、改正畜安法の運用改善を求めています。

このような状況を受け、全国の指定団体は乳価交渉を行い、加工原料

乳向けが令和七年六月より三円/kg(バター、生クリーム向け十円/kg)、飲用向けが令和七年八月から四円/kgとそれぞれ値上がが決定しました。

本県の酪農は、令和六年の夏、太宰府市では猛暑日が国内の年間最多記録を更新するなど猛暑に見舞われ乳牛に大きなダメージを与え、そのダメージ回復途上にあつた十一月、わが国初のランピースキン病が本県酪農場において発生しました。

本病は届出伝染病とのことから、発生直後に県の指導により発症牛の隔離と農場の消毒、発症牛からの生乳出荷を自粛し、組合では組合員全戸へ消毒薬と殺虫剤の配布を行うなどの対策を行いました。しかし、隣近隣農場に伝播したことから、ランピースキン病ワクチン接種を県知事に要請、知事命令によるワクチン接種が決まりました。ところが、「ワクチン接種牛及びワクチン接種由来牛は対米輸出認証食肉センターへの持ち込み及び食肉処理ができない」とされたことから、熊本県家畜市場では発生農場から半径二十km以内のワクチン

接種圏内の全ての農場からの市場への出荷自粛要請がなされ、本病の発生は一月中旬には新たな発生は無くなくなったものの、子牛の滞留が大きな課題として残されました。このため組合では、系統全国連や関係機関に働きかけ子牛の受け入れ先を探し、一部の滞留子牛の出荷を始めたところ対米輸出問題が解決、ほどなく熊本県家畜市場の受入自粛も解除となりようやく通常の状態を取り戻しました。しかしながら、本病の影響は、発生酪農場やワクチン接種圏内の酪農場のみならず、子牛市場価格の低迷等により県内全ての酪農家へおよび、組合では本病発生リスク軽減のため、全酪連や福岡県の協力を得て、昆虫成長制御剤（IGR剤）を組合員全戸に配布、散布を行いました。

また、組合は酪政連と連携し前年度に引き続き飼料高騰に対する酪農経営継続支援要請活動を行い、福岡県では配合飼料価格上昇分に対し、一部の市町においては独自の支援が実施されました。更にランピースキン病に関して、酪農家への適正な支援

並びに子牛の滞留問題解決等の要請活動を国はもとより福岡県や系統全国連である全酪連等に行いました。結果、福岡県では国の事業とは別に畜産農家への支援が行われ、また、国の積極的な働きかけにより、対米輸出問題の早期解決へとつながりました。

以上のような状況下、県下の酪農は種々の支援策はありましたが、生産コストの上昇による不安感とランピースキン病の影響を掃除することができず、二戸の新規就農があったものの十三戸が離農、乳牛飼養頭数並びに受託乳量が減少し、前年度に引き続き組合事業実績を落とす結果となりました。

この様な社会的環境や酪農情勢により多大なる影響を受けながらも、三カ年計画の重点実施事項と併せ、各事業に取り組み、(表1)のとおりの実績となりました。

第五次三カ年計画の最終年度となる今年の計画については、これまで以上に厳しい状況下での計画となりませんが、重点実施策に掲げた目標に向

かい、酪農を取り巻く情勢の変化に対応できる足腰の強い酪農経営を目指し、酪農基盤の維持強化のための事業に取り組んで参ります。

最後になりましたが、今後も役員一同、酪農の発展に寄与できるよう、業務に邁進して参りますので、皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(表1)財務・事業実績

区分	項目	令和5年度	令和6年度
財務	事業利益(千円)	24,285	16,622
	経常利益(千円)	42,616	22,707
	当期剰余金(千円)	132,813	19,607
	自己資本比率(%)	47.10	48.30
販売	受託販売乳量(ト)	59,761	57,780
	生乳販売高(千円)	7,575,271	7,530,391
購買	購買品供給量(ト)	34,087	32,450
	購買品供給高(千円)	3,306,406	3,091,108



令和六年度 乳質優良者六十名受賞

令和六年度乳質優良者表彰は、月二回の定期検査値の配点積上げ方式(満点二四〇〇点)により審査を行い、最優秀賞を、福岡支所の鶴田昇さん、優秀賞を、福岡支所の野田貞治さん、有田徹さん、森田純一郎さん、藤井正剛さん、優良賞を五十五名の方が受賞されました。

また、特別賞(十年連続ノーペナルティー)として、久留米支所の内田健二郎さんが受賞されました。(乳質優良表彰者下記のとおり)

表彰は、六月二十五日通常総会終了後に代表して最優秀賞者名と特別賞者一名を対象に表彰状並びに副賞等の授与を行いました。

受賞者の方には、賞状及び賞品併せて全酪連、全畜連、J A全農くみあい飼料(株)からの副賞を御贈りいたしました。

引き続き、乳質向上への取り組みを実施して頂き、消費者へ「安心・安全」の生乳を届けられるようお願いいたします。



(特別賞:内田 健二郎氏)

令和6年度 乳質優良表彰者一覧表

ふくおか県酪農業協同組合

NO.	支所名	組員略名	表彰	配点	連続回数	NO.	支所名	組員略名	表彰	配点	連続回数
1	福岡支所	鶴田 昇	最優秀賞	2,320	3	31	福岡支所	濱地 善朗	優良賞	1,935	7
2	福岡支所	野田 貞治	優秀賞	2,300	8	32	久留米支所	堀田 孝春	優良賞	1,925	5
3	福岡支所	有田 徹	優秀賞	2,290	9	33	飯塚支所	田村 亜希子	優良賞	1,915	3
4	福岡支所	森田 純一郎	優秀賞	2,290	12	34	久留米支所	尾形 興一	優良賞	1,905	1
5	福岡支所	藤井 正剛	優秀賞	2,240	11	35	久留米支所	榎倉重ファーム	優良賞	1,905	5
6	福岡支所	松永 慎也	優良賞	2,235	13	36	福岡支所	波多江 正好	優良賞	1,895	7
7	福岡支所	宮崎 悟	優良賞	2,210	1	37	久留米支所	金納 時久	優良賞	1,895	2
8	久留米支所	石井 延明	優良賞	2,195	1	38	久留米支所	カクタファーム 代表 角田 一馬	優良賞	1,890	2
9	久留米支所	羽野 浩	優良賞	2,150	1	39	久留米支所	鶴 広文	優良賞	1,890	5
10	久留米支所	内田 健二郎	優良賞	2,115	10	40	久留米支所	中村 博之	優良賞	1,885	14
11	久留米支所	平田 実	優良賞	2,105	4	41	飯塚支所	藤田 和英	優良賞	1,885	2
12	久留米支所	黒岩 純雄	優良賞	2,100	3	42	久留米支所	中野 実夫	優良賞	1,875	3
13	飯塚支所	穂坂 精樹	優良賞	2,100	2	43	飯塚支所	南藤井牧場	優良賞	1,870	1
14	久留米支所	弓削 貴裕	優良賞	2,090	4	44	福岡支所	小島 興人	優良賞	1,865	1
15	久留米支所	大石 信	優良賞	2,085	9	45	福岡支所	南福ファーム 代表 近松 善洋	優良賞	1,865	4
16	久留米支所	南今村ふれあい牧場	優良賞	2,075	1	46	久留米支所	中島 清	優良賞	1,860	1
17	福岡支所	吉村 重也	優良賞	2,060	4	47	飯塚支所	神崎 宏昭	優良賞	1,860	2
18	飯塚支所	村上 篤	優良賞	2,060	2	48	久留米支所	下川 茂宏	優良賞	1,850	1
19	久留米支所	安丸 英宏	優良賞	2,055	9	49	久留米支所	大坪 健一	優良賞	1,835	2
20	久留米支所	岩下 寿秀	優良賞	2,055	14	50	久留米支所	大淵 優太	優良賞	1,830	2
21	福岡支所	長渡 雄一郎	優良賞	2,050	1	51	福岡支所	重富 康則	優良賞	1,810	4
22	飯塚支所	國廣 隆一	優良賞	2,050	4	52	久留米支所	樺嶋 雅彦	優良賞	1,800	1
23	久留米支所	石橋 広一郎	優良賞	2,040	1	53	久留米支所	椿 成弘	優良賞	1,750	1
24	福岡支所	笠 直哉	優良賞	2,020	6	54	久留米支所	中野 繁利	優良賞	1,745	7
25	飯塚支所	竹本 貞敏	優良賞	2,005	12	55	飯塚支所	木戸 健	優良賞	1,725	7
26	飯塚支所	楠木酪農生産組合 松野 竜大	優良賞	1,975	5	56	久留米支所	吉田 政弘	優良賞	1,710	1
27	久留米支所	木庭 健一	優良賞	1,960	13	57	飯塚支所	中村 秀貴	優良賞	1,710	12
28	飯塚支所	森田 清隆	優良賞	1,960	4	58	飯塚支所	南天地山牧場	優良賞	1,700	2
29	久留米支所	川島 正春	優良賞	1,950	2	59	久留米支所	中垣 広之	優良賞	1,675	2
30	飯塚支所	金光 伸幸	優良賞	1,945	3	60	久留米支所	吉田 勝幸	優良賞	1,335	1

定期検査(乳脂肪分・無脂固形分・体細胞数・細菌数)における年間ノーペナルティー者 60名(昨年度65名)

特別賞表彰者一覧表 (10年連続ノーペナルティー組員)

支所	組員略名	連続回数
久留米支所	内田 健二郎	10

定期検査(乳脂肪分・無脂固形分・体細胞数・細菌数)における10年間ノーペナルティー組員

令和七年度 第一・四半期の生乳生産状況

令和七年六月に組合員より申請のあった生乳出荷数量を積み上げた結果、五七、八七トンの出荷目標数量（廃業者含む前年比一〇〇%）となり、この数量を本組合における生乳出荷見込数量として九州生乳販連へ報告しました。

本年も、需要期生産を目的とした導入事業を三〜六月に実施しましたが、四月からの生乳生産は表の通りとなっており、日量の推移として四トン程度少ない状況となっています。

酪農を取り巻く環境は、世界的なインフレ傾向と為替相場の円安基調と相まって依然として生産資材の高値安定が続いています。また、昨年の猛暑などによる受胎の遅れにより夏場〜秋口の乾乳、分娩が

集中している事と思えます。

梅雨明け後は蒸暑く生産量も落ち込んでくると予測されます。暑熱対策を行つても、それを上回る勢いで気温の上昇が続いていますが、暑熱対策（換気扇の清掃、風の通り道に物を置かないなど出来ること）を徹底していただき暑熱ストレスの低減に努めていただきます。

組合も微力ながら生産基盤強化・維持のため各種事業の実施、飼料対策として全国連と連携し輸入粗飼料や乾乳飼料、添加物などのキャンペーンを七月から九月に実施しますので、ご活用いただければ幸いです。

令和七年度 組合の生乳生産（第一・四半期）

単位＝トン・%

支所	受託乳量	前年比	前年廃業除く対比
福岡支所	4,387	95.8	98.5
久留米支所	8,371	97.3	101.5
飯塚支所	2,394	103.8	111.5
組合 合計	15,152	97.9	102.0

注) 〃未満を四捨五入のため計が一致しないことがあります。



酪政連 福岡県支部連合会 第六十二回定時総会を開催

第六十二回の日本酪農政治連盟福岡県支部連合会定時総会が四月三十日に福岡市内にて開催されました。

当日は、三支部より十七名(本人出席十四名、委任状三名)の代議員出席のもと、第二号議案より第三号議案まで慎重審議のうえ原案通り可決決定されました。

なお、令和七年度の重点政策を生乳の需給調整対策に対する支援対策、高騰する酪農生産資材に対する支援対策の継続、国産自給飼料増産対策、酪農後継者の担い手確保対策、その他の対策として産業獣医師を確保するための支援対策等と決定しました。



第五十二回「九州酪農青年女性酪農発表大会」開催

去る四月十六日(水)沖縄県の「サザンビーチホテル&リゾート 沖縄」において、九州酪農青年女性会議主催の「第四十六回九州酪農青年女性酪農発表大会」が開催されました。

ふくおか県酪農青年女性会議からは、酪農経営発表の部に久留米支所の平田卓さん、酪農意見体験発表の部に飯塚支所の江藤健太郎さんが発表されました。

最優秀賞を獲得されたのは以下のお二人です。

経営発表の部

熊本県

高木

大輔氏

『高能力、低コストで目指す安定経営』

酪農意見・体験発表の部

佐賀県

古川

真弓氏

『夢を叶えた、その先へ (モーモー母ちゃんDX)』

惜しくも、福岡県からの全国大会出場となりませんでした。甲乙つけがたい素晴らしい発表でした。

平田さん、江藤さんお疲れさまでした！

「父の日に牛乳^{ちち}を贈ろう！」 キャンペーン」県庁訪問

六月二日(月)、「牛乳の日」

「父の日に牛乳^{ちち}を贈ろう！」
キャンペーン」のPRのため、組
合と青年女性会議にて福岡
県庁を訪問し、福岡県のお父
さん代表として福岡県知事
に牛乳の贈呈を行いました。



意見交換の中で県知事へ直

接、酪農の現状や消費拡大を
訴えることができ有意義な
訪問となりました。



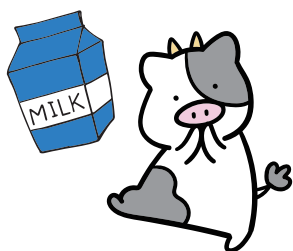
道の駅くるめで消費拡大

六月一日は国連が定める「世界牛乳の日」です。毎年この日
に合わせてJ A 久留米酪農部会のメンバーを中心に消費拡
大運動を行っています。

今年も道の駅くるめで、農家さん自ら牛乳や酪農の魅力を
知ってもらおうと試飲牛乳配布を行い消費者と交流を行
いました。

「牛乳大好き、毎日
飲んでるよ」の一言
はとっても嬉しかっ
たです。

これからも、安心・
安全でおいしい福岡
の牛乳をお届けでき
る様、頑張ってい
ます！



福岡支所青年部

父の日キャンペーン (牛乳消費拡大運動)

福岡地区酪農青年部では、六月二十二日(日)父の日に、筑紫野市石橋牧場のラッテビアンコにて牛乳の消費拡大活動をPRしました。ミルメークの配布や、お父さんの似顔絵を描いてもらいました。父の日

ですが、とっても仲のいいお父さんとお母さんの似顔絵と一緒に描いてみました。

これからおいしい牛乳をたくさん飲んでいきたいです。牛さんも夏バテしないですね。



飯塚支所青年部

父の日キャンペーン (牛乳消費拡大運動)

令和七年六月十九日(木)に、嘉麻市役所の入口前にて父の日キャンペーン(牛乳消費拡大運動)を実施しました。

来庁された方にグッズや、ミルメークなどの配布を行いました。受け取られた方から、「ミルメークは学校給食以来なので懐かしい!これからも毎日牛乳飲みますね!」「孫にも牛乳勧めるね!」などの言葉を頂きました。

日中とても、暑い日だったのですがたくさんの方に配布し、喜んでいただける活動だったと思います。



牛乳月間消費拡大活動「HAKATA牧場」開催

令和七年六月二日「牛乳の日」に、博多駅前広場にて消費拡大活動「HAKATA牧場」を開催しました。「乳搾り体験」「九州の牛乳飲み比べ」「バター作り体験」等の体験イベントを実施し、会場は多くの人で賑わいました。

販売コーナーでは福岡県産の牛乳、乳製品の販売をして、牛乳

乳製品の美味しき、魅力をアピールし、酪農家さんへの応援メッセージもたくさん書いてもらいました。また、お父さんの似顔絵コーナーなど、牛乳の消費拡大「父の日に乳を贈ろうキャンペーン」のPRを図りました。

乳搾り体験



似顔絵



酪農家さんへメッセージ



バター作り体験



飲み比べ

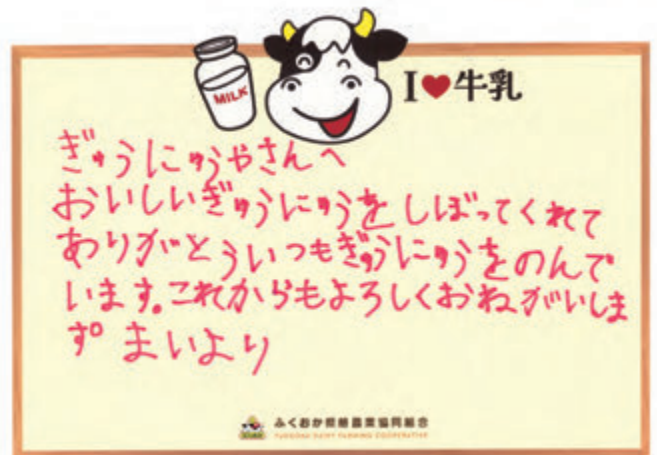
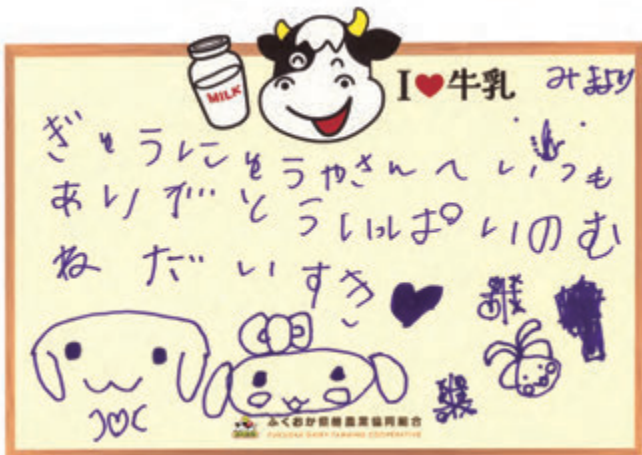
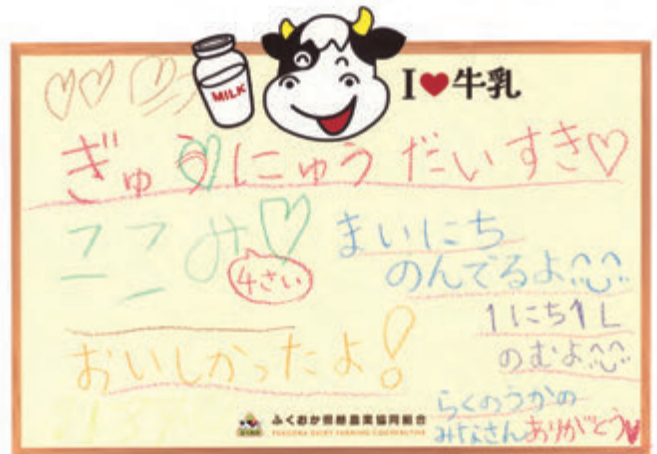



販売コーナー






その他






I♥牛乳

いつもおいしい牛乳
作ってくれてありがとう




ふくおか県酪農協同組合
FUKUOKA DAIRY FARMING COOPERATIVE




I♥牛乳

おいしい牛乳にやう
いつも
ありがとう




いけだおらた

ふくおか県酪農協同組合
FUKUOKA DAIRY FARMING COOPERATIVE




I♥牛乳

いつもおいしい牛乳をしばとくおてありがとう
送ります。これからおいしい牛乳を作ってください
よろしくおねがいします。




ふくおか県酪農協同組合
FUKUOKA DAIRY FARMING COOPERATIVE



I♥牛乳

牛乳のうかさんへ


いつもあんぜんで、おい
しい牛乳を作ってくれてあり
がとうございします。これからおい
しい牛乳にやうをふくおか県酪農協同組合
ふくおか県酪農協同組合
FUKUOKA DAIRY FARMING COOPERATIVE



I♥牛乳

うしさんいつも
みるくおいしいです。
みるくとみるくの舞みます。
みるくとみるくはうしさんだすも

ふくおか県酪農協同組合
FUKUOKA DAIRY FARMING COOPERATIVE



I♥牛乳


牛乳をのむと元気がでます!!

いつも おいしくいたっています。

ありがとう ございします!

これからも がんばってください!

ふくおか県酪農協同組合
FUKUOKA DAIRY FARMING COOPERATIVE




I♥牛乳

いつも、おいしい牛乳を作って
くれて、ありがとう。ございします

これからも、おいしい牛乳を届けて下さい

ふくおか県酪農協同組合
FUKUOKA DAIRY FARMING COOPERATIVE



I♥牛乳

牛乳がおいしいのは
酪農家さんの心のかけです
いつもありがとう

ふくおか県酪農協同組合
FUKUOKA DAIRY FARMING COOPERATIVE



I♥牛乳

牛どしなので

たくさん牛乳飲んでます。
いつもおいしい牛乳を牛さんと
作ってくれてありがとう！
体に気をつけて！

ふくおか県酪農協同組合
FUKUOKA DAIRY FARMING COOPERATIVE



I♥牛乳

いつもありがとうございます。

私の祖父母も酪農家でした。朝から夜遅くまで、
休みもなく大変だとよく言っていました。
みなさんのおかげで、おいしい牛乳が食べれる
んだよと子供たちに伝えています。
ありがとうございます。



ふくおか県酪農協同組合
FUKUOKA DAIRY FARMING COOPERATIVE



I♥牛乳

牛乳のおかげで

ここまで大きくなりました。
いつもありがとうございます

ふくおか県酪農協同組合
FUKUOKA DAIRY FARMING COOPERATIVE



I♥牛乳

毎日きょう食でおいしい牛乳を
ありがとうございます。
これからもたくさんのみます。
何千年先でも牛乳は神様です。



ふくおか県酪農協同組合
FUKUOKA DAIRY FARMING COOPERATIVE



I♥牛乳

牛乳を氷がけりに
のんで育ちました*
今も大好きです!!



ふくおか県酪農協同組合
FUKUOKA DAIRY FARMING COOPERATIVE



I♥牛乳

70才高齢者に健康
毎日飲んで元気です!!

100才まで長生きします♡

ふくおか県酪農協同組合
FUKUOKA DAIRY FARMING COOPERATIVE



I♥牛乳

牛さん大好きです!!
人生で骨折したことありませ
ん。

ふくおか県酪農協同組合
FUKUOKA DAIRY FARMING COOPERATIVE



I♥牛乳

東福岡バスケット部は
伊都物語が
大好きです

ふくおか県酪農協同組合
FUKUOKA DAIRY FARMING COOPERATIVE

第十七回 福岡県乳牛共進会の開催

令和七年九月二十日(土)に久留米市東合川筑後川河川敷(中干出公園横)において、第十七回福岡県乳牛共進会が開催されます!!

前回は、令和四年に第十六回大会が開催され、本来であれば消費拡大や展示会など、一般の方を集めての開催を予定していましたが、しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から規模を縮小しての開催を余儀なくされました。

今回は、新型コロナウイルス鎮静化に伴い、消費拡大等の付帯行事も従来通りの規模にて開催を予定しております。

審査員に十勝家畜人工授精所 取締役 専務 山口 寿典氏を迎え開催いたしますので、多数の出品をお待ちしております。

開催日時…令和七年九月二十日(土)

審査員…(株)十勝家畜人工授精所

取締役専務 山口 寿典氏

開催場所…久留米市東合川筑後川河川敷

(中干出公園横)

第十六回 全日本ホルスタイン共進会の開催

令和七年十月二十五、二十六日(土、日)に北海道ホルスタイン共進会場(勇払郡安平町)において、第十六回全日本ホルスタイン共進会が開催されます!!

前回は、令和二年に宮崎県にて第十五回大会が開催されたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催の中止を余儀なくされました。

今回は、十年ぶり、全国から約四〇〇頭を一堂に会しての開催となります。

また、福岡県の代表出品牛選考会は令和七年九月二十日(県共終了後)に久留米市筑後川河川敷にて開催されます。

開催日時…令和七年十月二十五日、二十六日(土、日)

審査員…【ホルスタインの部】

(社)日本ホルスタイン登録協会

審査部部长 稲山 智明 氏

【ジャージーの部】

(社)日本ホルスタイン登録協会

事業部部长 國行 将敏 氏

開催場所…【第十六回 全日本ホルスタイン共進会】

北海道ホルスタイン共進会場

(北海道勇払郡安 平町早来新栄)

出品頭数…【全体】

ホルスタイン 三百七十二頭

ジャージー 三十二頭 計 四百三頭

【福岡県】

ホルスタイン一般枠 四頭

Jサイア娘牛枠 一頭 計 五頭

福岡県代表出品牛選考会

久留米市東合川筑後川河川敷(中干出公園横)

令和七年九月二十日開催

(出品区分、出品頭数)

部 別	区 分	出品頭数
第 1 部	未経産牛 8ヶ月以上12ヶ月未満	7頭
第 2 部	// 12ヶ月以上16ヶ月未満	8頭
第 3 部	// 16ヶ月以上20ヶ月未満	5頭
第 4 部	// 20ヶ月以上26ヶ月未満	5頭
第 5 部	経産牛2歳ジュニアクラス(30ヶ月未満)	5頭
第 6 部	経産牛2歳シニアクラス(30ヶ月以上36ヶ月未満)	5頭
第 7 部	// 3歳クラス(36ヶ月以上48ヶ月未満)	5頭
第 8 部	// 4歳クラス(48ヶ月以上60ヶ月未満)	5頭
第 9 部	// 5歳クラス以上(60ヶ月以上)	5頭

注)

- ① 各部とも出品頭数が少ない場合、部の統合を行うことができる。
- ② 第5部出品牛は、1歳クラスの経産牛も含む。
- ③ 産次の算定にあたり、種付日を含めて、180日以上で早産又は流産したものは1産次とみなす。
- ④ 月齢算定の最終日は令和7年9月19日を基準とする。



頑張る

未来の

酪農家紹介

久留米支所

井手口

明博(三十一才)さん

就農したのは、父の働く姿を小さい時から見ていて、自分も牛飼いをやってみたいなと思っていたのがはじまりです。

現在、五十頭つなぎの牛舎(経産牛五十五頭)で、父と自分と雇用二人の計四人で、八女市黒木町という熊本県との県境で酪農経営をしています。

就農して六年、まだまだ牛のことは解らないことが多い、診療所の獣医さんはじめ普及所や先輩酪農家さんからアドバイスをもらい日々頑張っているところです。

直近の課題としては、どうしても夏場の乳質、特に脂肪

が我が家の課題で、日頃の餌の管理や牛の健康状態に気を配りながら乳質改善に取り組んでいる状況で、現在も普及所・家畜保健所・診療所の力を借り、繁殖検診・個体確認を行いながら夏場対策を検討しているところです。

今、縁があつて酪農青年女性会議の委員長をやらせてもらっています。普段会うことがない県外・全国の酪農家さんと交流する機会をもらっています。いろんな場面で、意見交換をして知識を広げていければなと考えています。

まだまだ課題はいくつもありますが、一つ一つ時間を

かけ課題をクリアして行きたいと思いますので、皆様のご指導をよろしくお願いいたします。



令和6年次 牛群検定成績まとまる

令和6年次の牛群検定成績結果が発表され、福岡県の検定農家における経産牛1頭当たりの平均年間乳量9,241kg(前年9,213kg)、平均乳脂肪率4.05%(前年3.99%)、平均無脂固形分率8.79%(前年8.77%)の成績となりました。

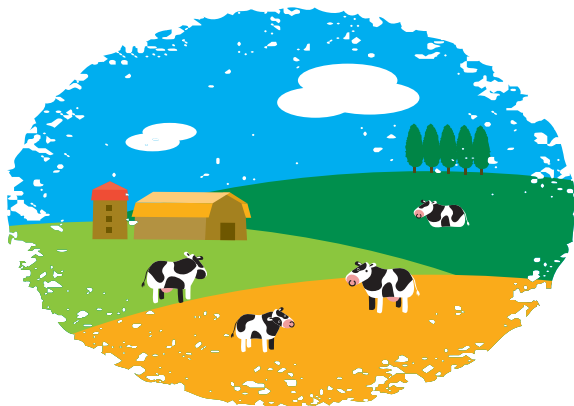
都府県(検定牛)の経産牛1頭当たりの平均年間乳量は9,622kg(前年9,531kg)で、福岡県は都府県をやや下回る水準となっています。

検定組合ごとの生産・技術成績は下記のとおりです。

令和6年 牛群検定事業成績

項目 組合名	戸数	経産牛 1頭当り 年間 TMS量	経産牛 1頭当り 年間 乳量	経産牛 頭数	搾乳牛 頭数	平均 全固形 分率	平均 脂肪率	平均 蛋白 質率	平均 無脂固形 分率	4%FCM	平均 乾乳 日数	平均 分娩 間隔	平均 年齢	平均 初産 月齢	平均 産次	
	(戸)	(kg)	(kg)	(頭)	(頭)	(%)	(%)	(%)	(%)	(kg)	(日)	(日)	(才月)	(月)	(産)	
乳用牛群改良検定組合	福岡支所	32	1,211	9,426	55.2	48.5	12.85	4.02	3.40	8.83	9,454	66	452	4 0	24.8	2.6
		33	1,187	9,343	54.7	48.3	12.70	3.93	3.35	8.77	9,245	65	454	4 1	24.3	2.7
	甘木朝倉地区	23	1,082	8,480	36.5	31.9	12.76	4.05	3.31	8.71	8,544	67	447	4 2	25.6	2.7
		26	1,098	8,638	37.0	32.4	12.71	4.00	3.30	8.71	8,633	70	459	4 0	25.1	2.6
	久留米	28	1,247	9,676	56.2	49.6	12.89	4.08	3.38	8.81	9,799	64	446	4 3	24.9	2.8
		35	1,230	9,577	57.3	50.7	12.84	4.04	3.36	8.80	9,639	60	444	4 3	25.1	2.8
	県北地区	23	1,113	8,727	36.4	32.2	12.75	3.98	3.35	8.77	8,694	67	452	4 2	24.8	2.7
		27	1,100	8,675	34.5	30.2	12.68	3.93	3.33	8.75	8,584	68	454	4 1	24.9	2.7
筑後地区	12	1,209	9,361	38.5	33.9	12.91	4.13	3.35	8.78	9,538	62	453	4 3	24.6	2.9	
	12	1,212	9,400	41.7	36.8	12.89	4.12	3.32	8.77	9,564	62	449	4 1	24.0	2.7	
福岡県検定 合計または平均	118	1,187	9,241	46.4	40.9	12.84	4.05	3.37	8.79	9,304	65	449	4 2	24.9	2.7	
	133	1,176	9,213	46.8	41.2	12.76	3.99	3.34	8.77	9,202	64	451	4 2	24.7	2.7	
ふくおか県酪 合計または平均	134	1,110	8,677	-	-	12.79	3.99	-	8.80							
	146	1,092	8,571	-	-	12.74	3.96	-	8.78							
都府県 合計または平均	-	1,238	9,622	-	-	12.87	4.01	3.42	8.86							
	-	1,222	9,531	-	-	12.82	3.98	3.40	8.84							

上 段：令和6年1月～令和6年12月
下 段：令和5年1月～令和5年12月



久留米支所 青年部 久留米支部

初めまして、大刀洗で酪農業に従事させてもらい、現在青年部久留米支部の副部長もさせてもらっています。山本勝将と申します。

だんだんと暑くなって来ましたね、私は結構な重量級なものでお察しの通り、牛さんにとっても私にとってもかなり過ごしにくい季節がやってくるなど戦々恐々としております(汗)

現在六月の頭なのですが私の所は、麦刈りの真っ最中で終われば直ぐに田植えも控えてそここうしているうちに、飼料用トウモロコシもスクスク伸びているという目も回りそうになるような時期頑張らないと行けません！

ところで、酪農に従事したてのころは産まれたての仔牛たちに名前をつけたりしていたりして余裕があったのかも知れませんが、このところその余裕が無いと自分自身感じる事がありました。

そんな中、私の娘たちに仔牛が生まれた事を写真を送ったりして報告すると「この子の名前は〇〇〜！」と小学生の次女が命名してくれました！

こういう気持ち、忘れていたな〜と思い出させてくれる出来事で、なんだか嬉しいようなそんな気持ちになれました。

たまに、娘が学校終わりに仔牛達に、会いにきて牧草をあげたり 撫でたりしているのを見ているととても良い瞬間だなと、しみじみ思いました(笑) 仕事は疲れるし、大変ですけど。やれるだけ頑張つて行こう〜という気持ちも湧いてくる瞬間でした！

私も頑張ります！(汗)皆様も体調管理、熱中症対策により一層気をつけ仕事外ではしっかり身体を休めて頑張つていきましょー！では！



福岡地区 酪農女性部

こんにちは。福岡西女性部です。

四月二十五日福岡支所にて、「ランピースキン病」を題に、福岡普及指導センター 畜産係 宮川係長を講師に迎え、勉強会を開催しました。

ランピースキン病の特徴ハエの生態系や幼虫対策、牛舎内

の掃除対策など、みんなでワイワイ楽しくお話しながら勉強をしました。

また、勉強会の後にはみんなでティータイム。帰りには、かわいい観葉植物と除草剤をみんなに配布し、楽しいひと時を過ごしました。



乳牛診療人工授精所 所長 遠藤 拓人

最近診た症例について思うこと

今年になって何件か診る機会があった病気の中に出血性腸症候群というものがあるのですが、この病名ご存知でしょうか？

出血性腸症候群(HBS)は、以前は腸管出血症候群(JHS)とも呼ばれていた病気になります。タール様の黒色粘血便(写真)を特徴としていて、血便前に通過障害を伴うこともある病気です。

急性且つ予後があまり良くなく、回復後も乳量低下の持続を伴うことが多いので私たちも対応に苦慮する疾病の1つとなっています。この病気、全く診ない年もあるれば年間数頭診る年もあるのですが、春先が暑い年の方が出やすい気がしています。

この病気の原因ですが、細菌のクロストリジウム属菌(*Clostridium perfringens* TypeA)と、カビ(真菌)のアスペルギルス属菌(*Aspergillus fumigatus*)の関与が示唆されています(検査しても必ずしも検出されないのですが…)

クロストリジウムもアスペルギルスも環境中に広く存在しているので、完全に除去することは困難です。そこで予防方法としてクロストリジウムにはワクチンや生菌剤投与が効果的です。一方カビは、目に見えてカビが生えている部分を除去することでも大事ですが、カビ本体が産生したカビ毒は水溶性の為、きれいに見える部分にも浸透している場合があります。カビ毒に対しては吸着材が効果的となります。大きく鉱物系、酵母系の2種類がありますが、クロストリジウムが産生するアフラトキシンに対してはどちらの系統も吸着効果は確認されています。カビ毒には他にも多数の種類があります(有名なところでゼアラレノンやデオキシニバレノール等)ので、対策を打ちたい対象によっては吸着材の系統の検討が必要になりますので、獣医師や飼料会社に相談してみてください。

早い梅雨明けと共に一気に気温が上昇し、カビにとっては天国ですが、ホルスタインは免疫状態が低下しやすい季節です。基本的な環境対策や嗜好性の良い飼料給与はもちろんのこと、ビタミンの給与や生菌剤、吸着剤等の活用でなるべくコンディションを落とさないようにしたいですね。



写真(小岩政照先生提供)

職員日記

参事 波多江 孝一



組合員の皆様、令和7年の梅雨は観測史上最短な速さで明け猛暑の最中、日々の酪農作業お疲れ様です。

さて、前回よりはじまりました「職員日記」第2回目は、波多江が担当させていただきます。

私は、平成2年に新卒で当時の福岡県酪連に入会し今年で36年目を迎えます。当時は、福岡県内の酪農家戸数は780戸ほどあったと記憶しており、現在の状況を思うと隔世の感があります。

新入職員のころの県酪連事務所は、昭和26年に小学校の廃材を利用して建てられた木造2階建てで、当時でも博多駅前4丁目という住所に似つかわしくない様相を呈していました。

今回の執筆にあたり、酪農専門農協の原点である生乳共販の視点に立ち、指定団体の設立された前後の福岡県の状況、変遷及び現在の生乳共販の状況を調べてみました。

現在のふくおか県酪農業協同組合は、平成19年4月福岡県内の10酪農専門農協が合併し発足、平成20年6月には京都酪農協と合併し福岡県内1つの酪農専門農協「ふくおか県酪農協」となったことは記憶に新しいことでしょう。

では、合併よりも更に時をさかのぼります。

I. 昭和30年代後半

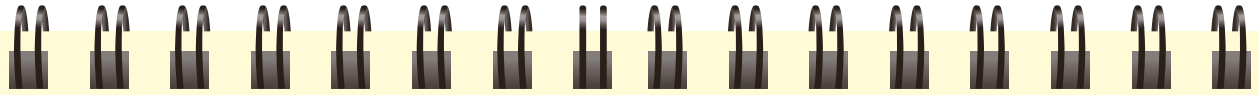
指定団体の県酪連が発足する以前昭和30年代後半には、福岡県内には多くの酪農組織が存在し、酪農組織は、乳業者毎系列化され、乳価交渉は乳業者とそれぞれの組織で行ってはいましたが、乳業者との取引関係は対等とは言えない状況だったと記されています。

また、乳価の構成についても、用途別乳価制度はなく、価格形成が不透明な混合乳価であったこともあり、乳業者が「飲用で売れていない、乳価を下げて生産意欲を落とせばまた回復する。」などにより一方的な値下げも有るなど、取引の主導権は乳業者側にあったようです。このため県内の酪農組織では、大会を開き「乳価値下げ即時撤回」や「乳価安定方策の確立について」決議、その中で「用途別乳価取引の制度化」などを取り上げ、乳価の値上げ要請と共に政府に陳情したとの記録もありました。

II. 昭和40年加工原料乳生産者補給金暫定措置法制定以降

「乳価紛争」は、全国的にも発生しており、政府としても酪農の安定化のため、昭和40年に加工原料乳生産者補給金暫定措置法を制定し、昭和41年4月に全国各都道府県に一つの生乳指定団体(福岡県では福岡県酪連)による、生産者の全量無条件委託を条件とした一元集荷多元販売制度がスタートしています。また、加工原料乳に補給金を交付する仕組みにより、飲用向けと加工向けの取引が明確化し、念願の用途別乳価取引制度が導入されることになりました。

しかし、制度ができたといって即一元集荷多元販売及び対等な立場での交渉が可能になったわけではなく、その実現のため乳業者と指定団体では需給調整等長い時間をかけ相互の信頼関係を構築し現在に至っています。



平成12年4月からは九州生乳販連が九州地区の広域の生乳指定団体となり、全国的にブロック指定団体へと変貌、より広域的な需給調整を行うなど、約50年という長きに渡り酪農を支える制度として機能してきました。

Ⅲ. 平成30年4月加工原料乳生産者補給金暫定措置法から改正畜安法へ

国は規制改革推進会議等の意見もあり、平成30年4月から加工原料乳生産者補給金の根拠法をこれまでの暫定措置法から恒久法「畜安法」へと変更し、この中で補給金の交付団体の要件の一つ全量無条件委託の原則を撤廃しています。

この制度変更により、指定団体と一部他の事業者や乳業者へ出荷することも可能となり、生産者にとって、出荷先の選択が広がり農業所得の向上に繋がることが期待できるとされました。

ところが、令和2年初頭に新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、学校給食の停止や行動制限、インバウンドの急減等により、牛乳乳製品の需要は大きく減退してしまいました。折しも酪農業界ではクラスター事業による増産体制の最中、需要の急減に対し乳製品のフル生産により対応したものの、売り先のない乳製品は過剰なまでに積み上がってしまいました。更には、世界的な物流の大混乱や穀物高騰等による未曾有の生産資材価格の高騰が襲い、酪農経営は直ちに危機的状況を迎えてしまい、乳価値上げが必須となったものの、乳製品在庫が大きな障壁として立ちはだかることとなりました。このため、生産者、乳業、国は基金を拠出し在庫を処理することに加え、全国的には乳牛の屠畜事業、北海道では農協単位での自主的な運動という形での取り組みにより生産抑制の方針が示され、乳価値上げへ向けた環境整備が整ってきたことはご承知の事と思います。

このような苦渋の対応により、令和4年度以降数回にわたり乳価値上げがなされ危機的状況は一息ついたものの、系統共販への信頼性に陰りが生じたことは否めず、以後特に北海道における生乳指定団体以外への生乳出荷の割合は増加の一途にあるとされており、改正畜安法における課題があぶりだされたのではないのでしょうか。

以上のとおり、簡潔に酪農組織における生乳共販の流れを振り返ってみましたが、未だ志半ばの感は強く、生乳共販やその仕組みを更に進歩させるため、酪農組織ともどもそのあり方については今一度考える必要があるのではと感じました。

組合員の皆様もこれからの酪農経営の維持発展のため酪農組織、生乳共販はかくあるべきあるべしと考えてみてはいかがでしょうか。

終わりになりますが、まだまだ暑い日々が続くと思われしますので、どうぞお体にはご自愛ください。

以上、徒然なるままに酪農組織、生乳共販について振り返ってみました。



平成6年頃の旧県酪連事務所(現在の組合本所)

お百姓さんから農家への変遷

昔、百姓とは百の姓（職業）を持つ人達のことを言っていたそうです。畑を耕し、お米や野菜を作るのはもちろん、狩りをしたり、籠作りや木を切ったり、開墾したり、薪や炭も作り、時には家も作ったり、道具も作れば機材を直したりといろいろなことができる人達をお百姓さんと言っていたそうです。生きていくために必要な物をすべて自分たちで賄って生活する人達のことを百の姓を持つ百姓と言ったとのこと。現在ではお百姓さんのことを農家とっています。貨幣経済が発達して、お金で何でも買える時代になり、お百姓さんから農家へと変わってきたようです。70年程前までは労働者人口の4割以上の1600万人がお百姓さんといわれる農家だったようで今とは桁違いに多かったのです。昭和30年代後半まで日本の産業は農家割合が一番多かったのですが、ここ60年くらいで農業従事者数は111万人と人口の1%程度になってしまいました。また、70年前の食糧自給率は高く、昭和30年半ばまでは70%を超えていたようです。貨幣経済が発展して産業が活性化し、日本は物作りが盛んになっていきます。働き方も生きるためではなく、お金を稼ぐために労働するという方向に変わり、日本全国サラリーマン化社会が到来し、働き方の構造が変わってきたのです。昔は各農家に畑を耕すために必ず牛や馬が家族のようにいました。耕耘機が入ってきて、牛や馬が少なくなります。さらに時代が進み耕耘機がトラクターに変わっていきます。余談ですが、最近のトラクターは電子部品の塊で自分では修理できない程進化しています。お金があればトラクターや便利な機材、肥料等の資材が買えます。貨幣経済が浸透し、農家は生きるための生産ではなく、よりお金を稼ぐ生業に変わっていきます。農業自体もお金を稼ぐためにサラリーマン社会と同様に変わってきたのです。先述の通り、生活のすべてを自分たちで賄っていたお百姓さんですが、お金を稼ぐことによって自分で作らず買えるようになってからだんだんと百姓から農家へと変わってきました。さらに時代が進んできて農家はいかにお金を稼ぐかに苦心する時代に入ります。今では農家から農業者になりつつあると考えられます。つまり生活のすべてを自分で生産するのではなく、農を生業とする生産方式に変わってきたのです。これが進んでい

くと、より儲かる作物を探して生産し、もっとお金を稼ぎたいという方向になります。普及員も少しでも農家を儲けさせたいとの思いで、より付加価値の高い作物の栽培にシフトするアドバイスをします。食べるためのお米や作物を作るのではなく、より儲かる野菜や果物、園芸作物に向かっていき、貨幣経済のスパイラルに落ち込みます。これが進み過ぎたため食糧自給率は下がり、いまやカロリーベースで30%を切る状況になってしまいました。欲しいものは海外からいつでも輸入できるということで、GDPや株価などの数字が話題になり、お金を稼ぐ方向に世界全体が変わってきてます。近年ではバーチャルなお金での取引も進んできて、現物のない取引までもが横行しています。GDPや株価が上がってきて日本は本当に豊かになってきたのかが問われます。また特にここ数年、輸入で欲しい時に欲しい物が手に入っているのか疑問を感じます。

農業も貨幣経済の中でどんどん変化してきたのが現状です。酪農もその一つといわれています。乳量に応じてですが、毎月決まった日にお金が入ってきてサラリーマン的になっています。しかし、酪農は貨幣経済の中にありながら、少し違うように感じます。確かに収入をいかに増やすかは重要なことです。毎月お金が入ってきてサラリーマン的な面はありますが、多くの酪農家はロマンを持って仕事をしているように見えます。多くのサラリーマンはお金を稼ぐことが目的のようで、その仕事をほんとうに好きでやっている方は少ないように感じます、もちろん酪農家は収入を得るために牛を飼っているのは事実ですが、根底には、牛がかわいとか動物が好き、できるだけ自然と接して生きていきたいという意識を持っておられる方々が多くいるように思えます。農業のほとんどが植物や動物の命と引き替えに食料にするのに対して、酪農は殺すことなく牛乳を生産できるという点でひと味違っています。いわば命を大切に、また命に向き合っている素晴らしい産業なのです。その酪農家が今減少しているのがほんとうに残念です。相変わらず厳しい環境が続いていますが、8月からは少し乳価が上がります。決して楽になる価格ではありませんが、崇高な使命を持っている酪農家がこれ以上減らないことを望みます。少なくとも安定して普通に生活でき、搾って損をしない環境になってほしいと思います。



暑中お見舞い申し上げます

監事	代表監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	副組合長理事	代表理事組合長
羽野浩	松隈進	波多江孝一	中垣広之	中野実夫	吉田政弘	石橋義則	小島興人	江藤秀樹	村上篤	中島清

酪農医療共済に**新特約**が誕生！ (酪農ハイ・メディカルSUPER)



病気やケガで働けなくなったら
どうしよう・・・!!
「所得補償特約」で酪農医療共済に
新たな安心をプラス✿

病気やケガで仕事ができない期間の収入をカバーする新しい特約です。入院だけでなく、その後の通院や自宅療養のため今までのように働けなくなっても安心の補償✨酪農医療共済の特約として月額 2000 円で追加できます。

ただいま推進キャンペーン中です!特約を付加いただいた方全員に、グルメギフトとグッズをプレゼント。お問い合わせは各支所までお願いいたします。

「令和7年夏ギフト」のご案内

ギフト受付期間

令和7年
7月1日(火)～8月8日(金)

牛乳、乳製品消費拡大運動の一環として、本年度も夏ギフトを販売いたします。組合員、役職員の皆様ご協力の程、よろしくお願ひ致します。



「暑日」
乳牛の
ちから借る」
「暑日は
美味しいミルク
元気出る」
新生ライオン

俳句・川柳コーナー

I. 退職(令和7年5月31日付)

氏名	適用	旧所属
井上 高明	依願退職	酪農部